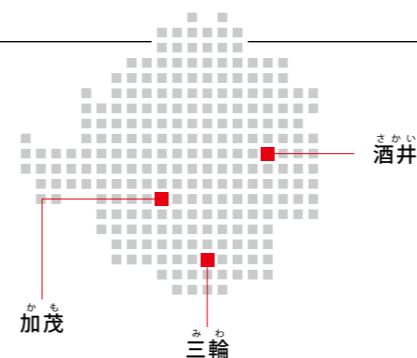


DATA 人口 107,346人 (前月比 - 148)
世帯数 47,037世帯 (前月比 - 41)
*令和5年9月末



さんだの魅力、お届けします。

theme | 三田の秋祭り、無形民俗文化財

市が「無形民俗文化財」に指定する秋祭りのうち3つを紹介し、人々が日常生活の中で生み出し、伝承してきた祭りは、歴史に触れることのできる貴重な機会です。(祭りの詳細は市HP)



▲市HP

4 特集

認知症と向き合う社会へ

本誌掲載の内容は、**令和5年10月20日**現在の情報です。

8 市長田村克也のお手紙届けます。
「皆さんの意見を聴き、課題解決に取り組む」

9 TOPICS | 特にお知らせしたいこと 31
9 さんだ地域医療フォーラム開催
10 スマート図書館サービス<第1弾>

11 Information | 情報コーナー 32
11 ピックアップ・インフォメーション
14 おでかけ・インフォメーション
18 リビング・インフォメーション

22 子育て News / 子育てカレンダー 34
27 保健だより(乳幼児)

28 相談窓口・電話/休日診療当番医 35

30 共生/消費生活/消防/防災

連載
学校自慢 けやき台小学校

多様な世代・多様な暮らし 32
さんだっ子スマイル
シニア×いきいきライフ
若者×地域活動
わたし×チャレンジ

みんなのひろば 34
図書館だより

Photo News | まちの話題 35
広報モニター募集/読者の声/編集後記

*連載「SUN だなヒト。」は、今号の掲載はありません。次回は令和5年12月号に掲載します(偶数月に掲載)。

加茂神社「稲引・樽引」(9月30日) = 加茂 =

加茂の神が子神のため稲束を持ち去ろうとしたところを村人に見つかり、逃げ込んだ社殿でお詫びに酒をついで回ったことが由来と言われる、非常に珍しい奇祭です。稲引は「加茂の火祭り」とも呼ばれ、稲束を結びつけた担い棒を中心に、円を描くように走りながら、暗闇でたいまつを打ち付け合い火の粉を上げる姿は勇壮です。



三輪神社「波宇也踊り」(スポーツの日の前日) = 三輪 =

昔々、神社を襲った盗賊を撃退した白い大蛇への感謝のため、好物のカエルの跳ぶ姿を取り入れた舞を村人たちが納めたのが始まりと言われています。踊りの道具を収める箱に「文政八年」(1825年)と書かれており、江戸時代後期には踊りが奉納されていたことがわかります。踊り手は「6人衆」と呼ばれる地元住民たち。締太鼓とササラの2種類の楽器で拍子を取りながら、前後・左右に跳びはねるように舞ったあと、円になり「ホーホー」と声を掛けながら時計回りに回ります。最後に、1人ずつ「蛙跳び」といわれる舞を納めます。

高売布神社「千本搦ぎ」(10月7日) = 酒井 =

「初党(初頭・産党)」と呼ばれる、その年度に生まれた子どもの父や結婚した男性が、カシの木でできた6尺(約2メートル)の竖杵で餅をつきます。太鼓のリズムに合わせて「礎場搦歌」を歌いながらつき、最後に、つきあがった餅を天高く掲げて奉納します。

家族の幸せを祈願しながらつき、掲げました。生まれ育った場所で、幼い頃に参加した神事にわが子と参加できるのがうれしいです。

今年初党を務めた北中 誠也さん = 十倉 =



10 言語で「読める」「聞ける」多言語対応アプリ
カタログポケット
*アプリのダウンロードが必要です

緊急情報などを一斉送信!
市LINE公式アカウント
友だち募集中!
*アプリのダウンロードが必要です

ご案内



冊子の中央(18-19ページの間)に、人権啓発誌「人権さんだ」を挟み込んでいます。抜き取って、ご覧ください。